



平成24年度
第4次ふるさといきもの調査
報告書



越谷市

第4次

ふるさと

いきもの調査

指標生物
(37種)



29 スズガシロチョウ



30 アオスジアゲハ



31 ナガサキアゲハ



32 ツマグロヒヨドリモン



33 ヨシワカダ



34 ヒグラシ



35 クマゼミ



36 オオカマキリ



37 シオカリスゴ



1 在来レンゲ



8 ヨシ(アシ)



15 キツバト



22 ハクセキレイ



2 セイヨウレンゲ



9 シュズタマ



16 コサギ



23 モズ



32 ツマグロヒヨドリモン



3 セイヨウアケボノ



10 ハシクシ



17 カルガモ



24 ツグミ



33 ヨシワカダ



4 カシバウツギ



11 ケヤキ



18 カワセミ



25 オオムシキリ



34 ヒグラシ



5 キタマンコ



12 クヌギ



19 コゲラ



26 シジュウカラ



35 クマゼミ



6 スズレ



13 幹周2m以上の樹木



20 ツバメ



27 オナガ



36 オオカマキリ



7 ミミガ



14 シラヨビ



21 ツバメの巣



28 モンシロチョウ



37 シオカリスゴ

発刊にあたって

越谷市は、多くの河川や用水路が流れ、古くから自然に恵まれていたことから、「水郷こしがや」と呼ばれてきました。昭和33年に市制を施行した当時は、人口が約4万8,000人でしたが、昭和40年代以降、首都近郊のベッドタウンとして大きく変貌し、現在では人口33万人を超える県南東部地域の中核都市として発展しています。

一方、急速な都市化に伴い、身近な緑や水辺が減少し、水路や河川、田の畦、雑木林などで暮らしていた生き物の中には、姿を消したり、絶滅が危惧されるものも少なくありません。私たちは、豊かな暮らしの代償として身近な自然が失われつつあることに気づくとともに、未来の世代のために、快適さのみならず、自然と調和した環境を残していく必要があります。

本市では、平成23年12月に「越谷市環境管理計画」を改定し、「循環型社会」や「自然共生社会」の実現に向けた取り組みを進めています。基本施策の1つである「多様で豊かな自然の恵みを次世代へつなげるまち」を目指す取り組みとして、今回で4回目となる「ふるさといきもの調査」を継続的に実施してきました。このたびの調査におきましても、多くの市民調査員にご協力いただき、市内の貴重な環境情報が数多く寄せられ、「第4次ふるさといきもの調査報告書」を、ここに発刊する運びとなりました。

この報告書が、越谷の自然環境を測る指標や情報源として、幅広く活用され、多くの皆様に身近な自然に関心を持っていただければ幸いです。

結びに、調査にご協力いただきました市民調査員の皆様をはじめ、「第4次ふるさといきもの調査運営委員会」の皆様、そして貴重な写真の提供や執筆をしていただきました皆様に厚くお礼を申し上げます。

平成26年1月

越谷市長 高橋 努

CONTENTS 目次

○平成24年度「第4次ふるさといきもの調査」報告について	4
○一斉調査について	8
○「第4次ふるさといきもの調査」市民調査員名簿	9
○指標生物37種類の解説と分布図	10
① 在来タンポポ	10
② セイヨウタンポポ	11
③ セイタカアワダチソウ	12
④ カントウヨメナ	13
⑤ キタミソウ	14
⑥ スミレ	15
⑦ ミソソバ	16
⑧ ヨシ(アシ)	17
⑨ ジュズダマ	18
⑩ ハンノキ	19
⑪ ケヤキ	20
⑫ クヌギ	21
⑬ 幹周り2m以上の樹木	22
特別コラム ハクビシン・アライグマについて	23
⑭ シラコバト	24
⑮ キジバト	25
⑯ コサギ	26
⑰ カルガモ	27
⑱ カワセミ	28
⑲ コゲラ	29
⑳ ツバメ	30
㉑ ツバメの巣	31
㉒ ハクセキレイ	32
㉓ モズ	33
㉔ ツグミ	34
㉕ オオヨシキリ	35
㉖ シジュウカラ	36
㉗ オナガ	37
㉘ モンシロチョウ	38
㉙ スジグロシロチョウ	39
㉚ アオスジアゲハ	40
㉛ ナガサキアゲハ	41
㉜ ツマグロヒョウモン	42
㉝ コクワガタ	43
㉞ ヒグラシ	44
㉟ クマゼミ	45
㊱ オオカマキリ	46
㊲ シオカラトンボ	47
○越谷で確認された希少生物リスト	48
○久伊豆神社の埴(ねぐら)に集まるカラスの範囲調査	52
○カラス集団埴の個体数調査	53
○越谷の動植物リスト	54
○調査員からの一言	62

はじめに

越谷市は、「水郷こしがや」と呼ばれてきたように、豊かな水に恵まれた河川や、用水路、また水田などが広がり、多くの動植物が生息する自然の豊かな地域でした。しかしながら、市街地の整備などが進み、屋敷林や農地などのかつての緑が減少すると共に、近年では気温の上昇など気候も変化しつつあります。一方、公園や緑道、大規模な調節池などの新たな緑地も整備されてきています。

そこで、いきものの生息状況から越谷の自然環境の現状を把握するため、平成9年度から「ふるさといきもの調査」を実施しています。この調査は越谷の自然環境を知るうえで指標となると考えられる動植物を選び出し、それらの生息状況を発見情報により調査するもので、その後5年ごとに調査を行っております。

今回の「第4次ふるさといきもの調査」では、210名の市民調査員の皆様のご協力により、平成24年4月から平成25年3月までの1年間、植物13種、鳥類14種、昆虫10種の37種類の動植物について、調査を行いました。

この冊子では、今回の指標生物の発見情報を、10年前の平成14年度の調査結果と比較しています。また、指標生物以外の生き物の発見情報については、巻末にリストを掲載しました。この冊子を通して、越谷の貴重な自然を再確認していただき、身近な地域の自然環境について考えるきっかけとしていただければ幸いです。

1 調査の方法

調査は、市内を570メッシュ（区画）に分け、越谷市に生息する37種類の生き物（指標生物）が、東西400m×南北300mメッシュの中に「確認された」ものを、4月から翌年3月までの1年間にわたって毎月報告していただきました。これは、基本的には5年前の調査と同じです。この調査では、どこに「いた、見つけた」のかを調査地図のメッシュ番号で報告していただいたもので、「個体数」は調査の対象になっていません。また、植物、昆虫等については、見つけた場所のメッシュ番号、鳥については、一番初めに確認した鳥の位置（飛んでいる場合は、飛んでいた場所）に相当するメッシュ番号を報告していただきました。

(p.5図参照)

2 結果のまとめ方

越谷市ふるさといきもの調査・調査報告書

越谷市ふるさといきもの調査・調査報告書

調査日: 平成 24年 4月分
氏名: 越谷 花子

さんかしゃばんごう
参加者番号
L 1 1 1 1

◇調査した地域
中央市民会館の南側から葛西用水沿い

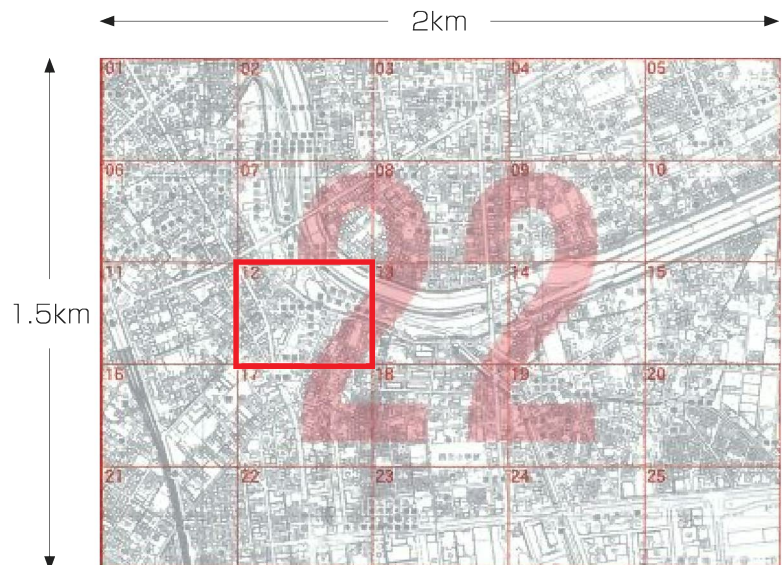
植 物	発見場所	日付	発見場所	日付	発見場所	日付	発見場所	日付
1. 在来タンポポ	22-12	4/7						
2. セイヨウタンポポ								
3. セイタカアワダチソウ								
4. カントウヨメナ								
5. 千代ミソウ	22-13	4/9						
6. スズシ								
7. ミゾソバ								
8. ヨシアジ								
9. ジュズダイ								
10. ハシロキ								
11. ケヤキ								
12. クメギ								
13. 幹周12m以上の樹 (木の名前)	22-12	4/7						
鳥								
14. シラコバト								
15. キジバト	22-12	4/5	22-13	4/7				
16. コサギ								
17. カルガモ								
18. カワセミ								
19. コウラ								
20. ツバメ								
21. ツバメの巣								
22. ハウセキレイ								
23. モズ								
24. ツグミ								
25. オオヨシキリ								
26. シジュウカラ								
27. オナガ								
昆 虫								
28. モンシロチョウ	22-07	4/5						
29. スジシロチョウ								
30. アオスジアゲハ								
31. ナガサキアゲハ								
32. ツマゲロヒョウモン								
33. コクワガタ								
34. ビグラシ								
35. クマゼミ								
36. オオカマキリ								
37. シオカラシボ								

※発見場所にはメッシュ番号を記入してください。
▷ 上記以外の生き物を見つけた場合は、裏面に記入してください ◁

(裏面は自由欄)

メッシュ番号の記入のしかた

2 2 - 1 2



市民調査員の提出する調査報告書には、指標生物、指標生物以外の生物ともに、発見場所（メッシュ番号、具体的な地名等があるものについてはその場所名を併記）、発見年月日、発見者、発見状況などを記載していただきました。また、自由欄には、指標生物以外で見つけた生き物や場所、名前のわからない生き物の絵などを自由に記載していただきました。これらは、指標生物もそれ以外の生き物も全てデータ化してまとめました。今回掲載した分布図は、平成14年度の指標生物の結果と平成24年度の指標生物の結果をひと目で分かるように色分けし、指標生物ごとにメッシュをぬりつぶしました。したがって、分布図のなかでぬりつぶされていないメッシュに「その指標生物はいなかった」ということを厳密に判断することはできませんが、指標生物の分布図に近いものとして判断することができます。

なお、1つのメッシュに「いつ、だれが、どのように」、何件「いた、見つけた」報告があったかは、掲載していません。

3 調査結果について

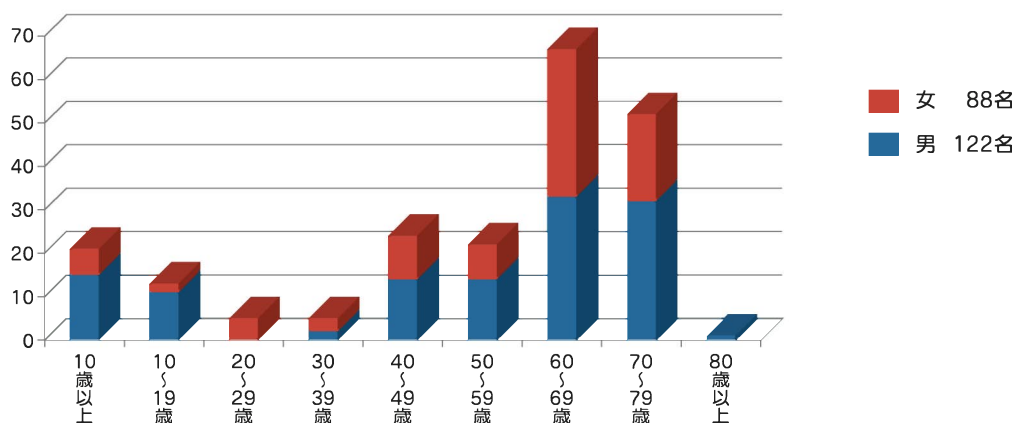
1) データ

①210名の市民調査員にご協力いただきました。

平成24(2012)年度「第4次ふるさといきもの調査」に参加していただいた市民調査員は210名でした。内訳は次の表のとおりです。

ふるさといきもの調査市民調査員

性別	市民調査員年齢構成									合計
	10歳未満	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	
男性	15	11	0	2	14	14	33	32	1	122
女性	6	2	5	3	10	8	34	20	0	88
合計	21	13	5	5	24	22	67	52	1	210



②報告総数は約3万件におよびました。

市民調査員からの報告数は、37種の指標生物の発見報告が19,676件、指標生物以外のいきもの発見報告が13,566件、総数で33,242件になりました。第1次調査の総数6,566件、第2次調査の総数19,751件、第3次調査の総数29,303件と比べ報告数が増加しています。

2) 調査結果概要

①多くのメッシュで見つかったのは

調査対象となった指標生物37種類の中で一番多くのメッシュで見つかったのは、ハクセキレイで465メッシュ、1,949件見つかっています。全メッシュの約82%でした。次いで多かったのがキジバトで456メッシュ約80%、1,874件でした。3番目はツバメで388メッシュ約68%、1,241件でした。

②ほとんど見つからなかったのは

指標生物の中で報告のあったメッシュが一番少なかったのは、キタミソウで13メッシュ27件でした。2番目に少なかったのは、コクワガタの18メッシュ21件でした。

指標生物発見報告状況

指標生物名称	平成24年度		平成19年度		平成14年度		平成9年度	
	報告メッシュ数	発見報告総数	報告メッシュ数	発見報告総数	報告メッシュ数	発見報告総数	報告メッシュ数	発見報告総数
1. 在来タンポポ	232	485	261	592	153	324	153	307
2. セイヨウタンポポ	328	913	346	1,085	341	965	404	1,146
3. セイタカアワダチソウ	256	702	312	812	321	713	291	666
4. カントウヨメナ	131	300	167	395	224	471	192	406
5. キタミソウ	13	27	22	50	19	42	35	74
6. スミレ	110	209	91	239	—	—	—	—
7. ミゾソバ	45	116	69	220	74	129	76	133
8. ヨシ (アシ)	189	549	—	—	204	571	239	539
9. ジュズダマ	76	177	—	—	103	194	85	179
10. ハンノキ	70	190	133	324	87	263	112	337
11. ケヤキ	254	609	304	841	279	752	350	967
12. クヌギ	103	275	126	356	106	310	84	249
13. 幹周り2m以上の樹木	166	616	167	503	—	—	—	—
14. シラコバト	20	27	38	62	88	178	140	286
15. キジバト	456	1,874	329	1,488	288	885	255	686
16. コサギ	260	910	218	773	172	448	171	345
17. カルガモ	271	1,349	232	1,337	181	700	150	497
18. カワセミ	87	380	41	125	—	—	—	—
19. コゲラ	95	232	52	159	32	74	28	40
20. ツバメ	388	1,241	292	970	246	607	195	445
21. ツバメの巣	109	220	101	228	72	118	68	145
22. ハクセキレイ	465	1,949	321	1,312	253	700	267	776
23. モズ	180	468	89	314	93	182	91	260
24. ツグミ	386	971	217	654	130	264	135	245
25. オオヨシキリ	105	292	78	243	54	107	33	58
26. シジウカラ	300	1,022	153	570	98	171	67	119
27. オナガ	261	795	177	489	145	296	127	232
28. モンシロチョウ	309	1,041	280	879	315	807	253	636
29. スジグロシロチョウ	64	118	49	58	45	66	48	57
30. アオスジアゲハ	195	504	125	267	164	321	76	175
31. ナガサキアゲハ	54	95	—	—	—	—	—	—
32. ツマグロヒョウモン	178	426	—	—	—	—	—	—
33. コクワガタ	18	21	25	42	10	10	14	17
34. ヒグラシ	23	30	18	23	17	20	16	19
35. クマゼミ	24	38	14	16	—	—	—	—
36. オオカマキリ	63	117	41	71	40	58	43	89
37. シオカラトンボ	158	388	98	213	144	234	108	241
アサザ	—	—	7	12	—	—	—	—
ヨモギ	—	—	—	—	353	976	396	1,075
クズ	—	—	—	—	140	264	143	297
セイヨウオオマルハナバチ	—	—	8	9	—	—	—	—
ミドリシジミ	—	—	—	—	6	7	10	13
アメンボ	—	—	—	—	89	213	81	146
ヘイケボタル	—	—	—	—	1	2	1	1
ハグロトンボ	—	—	20	44	—	—	—	—
合計	6,442	19,676	5,021	15,775	5,087	12,442	4,937	11,903

3) 調査結果の全体を通して

今回の調査結果では、以前と比べ、指標生物の発見報告が、植物を除き全体的に増加していました。特に、鳥類のキジバト・ハクセキレイ・ツグミ・シジウカラは報告が多くなっています。しかしながら、シラコバトは前回からもメッシュ数、報告数ともかなり減少しています。植物に関しては、全体的に件数が減少傾向にあり、ハンノキは特に報告件数が減っています。また、温暖化の指標とも考えられ、今回指標生物として加えたナガサキアゲハ、ツマグロヒョウモン、前回からのクマゼミについては、いずれも発見報告が寄せられており、平均気温の上昇など気候変動による影響が考えられます。



一斉調査とは、自然観察の方法や楽しさを知っていただくことを目的に、計4回実施いたしました。

春・夏・秋・冬の季節ごとに調査し、一般市民の方を含め204名の方に参加していただきました。ありがとうございます。

一斉調査の様子

第1回 ～春のいきものを探そう～

日 時：平成24年4月21日（土）
場 所：総合体育館及び北越谷第5公園
テーマ：春のいきものを探そう
参加者：総合体育館 36名
北越谷第5公園 25名



第2回 ～夏のいきものを探そう～

日 時：平成24年8月25日（土）
場 所：県民健康福祉村
及び元荒川桜堤通り
テーマ：セミを探そう
参加者：県民健康福祉村 24名
元荒川桜堤通り 33名



第3回 ～秋のいきものを探そう～

日 時：平成24年10月20日（土）
テーマ：木の実を探そう
場 所：県民健康福祉村
参加者：40名



第4回 ～野鳥を探そう～

日 時：平成25年1月19日（土）
テーマ：冬鳥を探そう
場 所：大吉調節池周辺
参加者：46名




「第4次ふるさといきもの調査」市調査員名簿

調査員番号	調査員氏名
A-001	石井 秀夫
A-002	田中 千恵子
A-003	中村 武彦
A-008	大沼 咲輝
A-009	大沼 弘史
A-010	遠藤 脩造
A-011	梅津 玲子
A-012	小椋 一儀
A-013	出山 千以子
A-014	阿南 由里
A-015	斎藤 光子
A-016	高野 和夫
A-020	田中 宏子
A-021	渡辺 充
A-023	田中 修
A-024	九ノ里 幸子
A-025	北川 五十雄
A-026	岩田 孝
A-027	早川 和子
A-028	三富 信一
A-033	白井 朗
A-039	若山 優輝
A-040	真木 裕子
B-001	坂入 秋雄
B-003	堀之内 稔
B-004	大隅 巖
B-005	三田寺 しず江
B-006	田中 八栄子
B-007	小玉 孝男
B-008	木村 俊雄
B-009	菅野 和与
C-001	家所 是
C-002	家所 昌子
C-003	米田 芳彦
C-004	片岡 征二
C-006	浜野 多佳子
C-007	稲垣 しず子
C-008	山崎 優太
C-009	山崎 美保
C-010	山口 要二
C-011	増田 逸雄
C-012	直井 駿英
C-013	直井 育夫
C-014	江原 通代
C-016	土本 真理子
C-017	土本 哲也
C-018	加藤 満
C-019	大塚 誠一
C-020	白鳥 正之
C-023	水野 宏哉
C-024	水野 友美
C-025	河井 瞳子
C-026	熊倉 厚子

調査員番号	調査員氏名
C-031	滝沢 恵子
C-034	丸山 正治
C-035	松山 まずみ
D-001	田部井 初江
D-002	泉 雅彦
D-003	松嶋 順子
D-004	恩田 幸信
D-005	三瓶 勇紀
D-006	三瓶 守夫
D-007	望月 順次
D-008	佐藤 直希
D-009	佐藤 泰弘
D-012	恒藤 敏子
D-013	倉田 郁子
D-014	村上 月江
D-015	高村 正彦
D-016	小野 賢史
D-017	小野 明彦
D-018	櫻井 龍雄
D-019	滝沢 衛
D-020	野村 修己
D-021	坂本 光嗣
D-022	松下 澄子
D-023	根本 拓巳
D-024	根本 明美
D-025	坂田 泰征
D-026	上山 竜生
D-027	上山 康大
D-028	上山 法夫
D-030	柴田 昌夫
D-032	新井 康義
D-036	井原 結子
D-037	井原 透雄
D-039	佐藤 宏
E-001	緑川 淑子
E-002	中村 忠次
E-003	小野 郁子
E-004	木村 信子
E-006	久世 早百合
E-007	小林 義則
E-008	新井 久子
E-009	松田 好行
F-001	松本文美
F-002	小菅 靖
F-003	小菅 才子
F-006	西尾 賢彦
F-007	小野 博康
F-008	池田 泰樹
F-009	池田 潤
F-010	小林 圭子
F-011	吉井 啓一
F-012	中村 光男
F-013	成田 秋夫

調査員番号	調査員氏名
F-014	鋪野 英雄
F-015	中村 澄恵
F-016	中村 香澄
F-017	高橋 哲夫
F-018	菅原 帆乃香
F-019	菅原 彩絵子
F-020	篠 全男
F-021	吉田 弘
F-022	吉原 佑佳
F-023	吉原 行雄
F-024	湯浅 尚子
F-025	諸澤 桂子
F-026	石川 清次
F-027	亀山 康
F-028	亀山 大朝日
F-029	下敷領 鮎美
F-030	古澤 和恵
F-031	新原 秀典
G-001	新井 風希
G-002	新井 光恵
G-003	中川 兼雅
G-006	神谷 侑吾
G-007	松沢 智子
G-008	小林 トシ子
G-009	水無瀬 隆造
G-011	池上 朋祈
G-012	池上 勇
G-013	船底 直敬
G-014	広田 三枝子
G-015	川名 広治
G-016	秋山 祥子
G-018	松田 将寿
G-019	松田 昂士
G-020	松田 侑奈
G-021	落合 俊伸
G-024	千草 啓一
G-025	鳥居 史枝
G-030	横溝 大和
G-031	横溝 美香
G-032	新井 理月
G-033	新井 陽翔
G-035	松谷 紀美子
H-001	高橋 稔
H-002	内田 敦也
H-003	内田 和秀
H-004	細田 信義
H-005	細田 光子
I-001	野崎 純子
I-004	宮山 清司
I-005	大西 久美子
I-006	朝倉 晴枝
I-007	一ノ倉 久子
I-008	土居 俊介

調査員番号	調査員氏名
I-009	土居 香織
I-010	伊藤 幸子
I-011	相沢 淑江
I-014	荒木 英輔
I-015	荒木 洋育
I-016	国分 未来
I-017	青木 雅美
I-019	池ノ谷 龍市
J-001	渡部 彩香
J-002	坂本 誠一郎
J-003	岡田 香子
J-004	鈴木 すみ子
J-005	川戸 満夫
J-006	鈴木 功
J-007	佐藤 璃奈
J-008	佐藤 敏光
J-009	渡辺 恭子
J-010	辻 隆信
J-013	山崎 哲夫
J-015	高橋 信子
K-003	中村 千代子
K-004	中村 雄市
K-005	浜野 あけみ
K-006	長谷川 清
K-007	大塚 操
K-008	佐藤 真二
K-009	中村 颯汰
K-010	中村 聡
K-011	駒形 佳大
K-012	駒形 忠明
K-013	広部 重夫
K-014	須田 真太郎
L-001	小林 伸広
L-002	住田 博美
L-003	松原 茂樹
L-004	小曾川 弘美
L-005	平田 由美子
L-006	渡辺 弘子
L-007	伊藤 咲希
L-008	伊藤 凜
L-010	松原 紀子
L-011	高橋 千代
L-012	阿部 功
L-013	五十嵐 治
L-014	鯨井 礼子
X-001	石川 光夫
X-002	佐野 瞳
X-005	山部 直喜
X-006	斎藤 光雄
X-007	鈴木 則子
X-008	矢島 民夫

※名簿は、調査報告書をご提出いただいた市民調査員を掲載しました。